

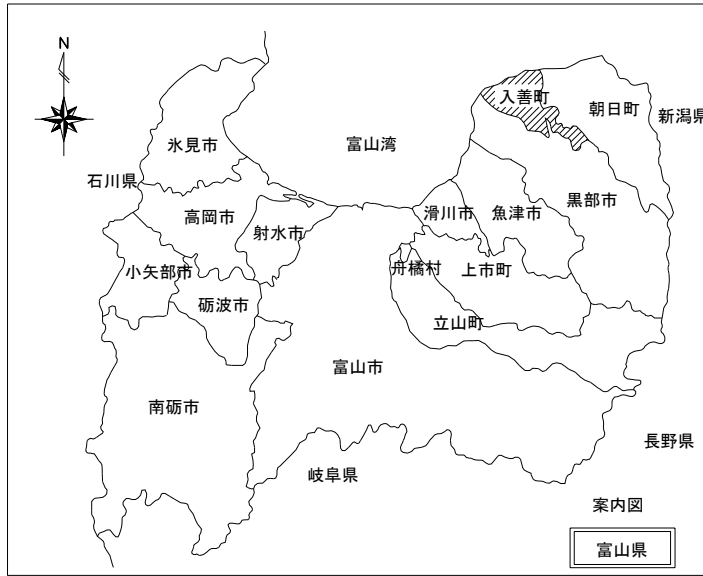
# 入善浄化センター建築改修工事

## 発 注 図

令和7年度

富 山 県 入 善 町

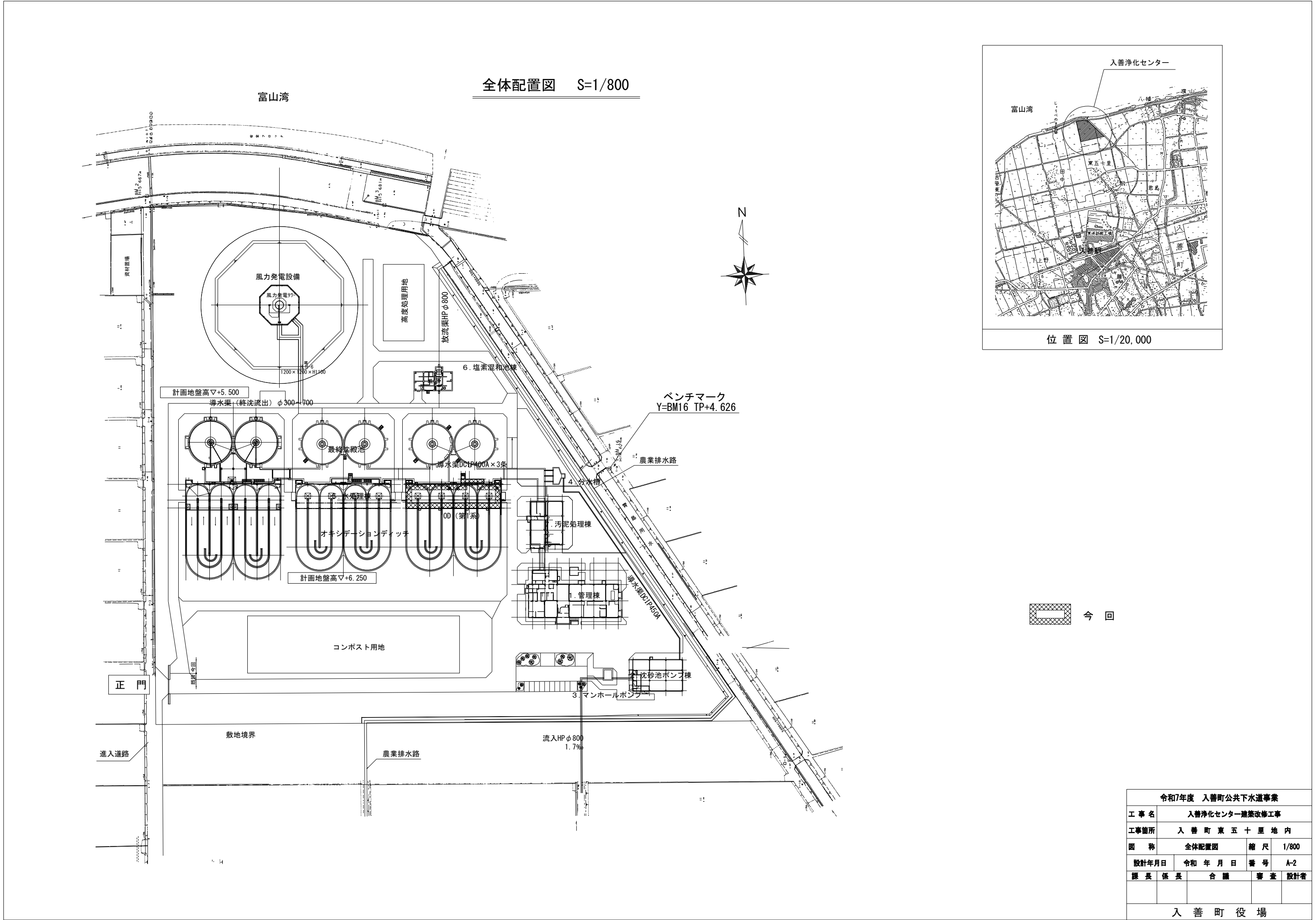




位置図 S=1/10,000



令和7年度 入善町公共下水道事業				
工事名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入善町東五十里地内			
図 称	位置図	縮 尺	1/10,000	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-1	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				



令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名		入善浄化センター建築改修工事		
工事箇所		入 善 町 東 五 十 里 地 内		
図 称	全体配置図	縮 尺	1/800	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-2	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

		特記仕様書		特記事項		特記事項	
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。						絶縁シートの材料の指定： ※標準仕様書による ・製造所仕様による	
2. 本特記仕様書における採用事項						保護コンクリートの設計基準強度： ※18N/mm2 ・21N/mm2 ・	
①. 項目欄は番号等に ○印を付したものを適用する。						保護コンクリートのスランプ： ※18cm ・15cm ・	
②. 項目欄に ○印を附し特記事項欄に ○印を附していない場合は標準仕様書による。						防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護【・押出成形シート板 ・図示 ・湿式保護【・モルタル ・普通れんが(JIS R 1250) ・図示 】	
③. 特記事項は ○印を附したものを適用する。但し ○印の付かない場合は※印の附した事項を採用する。 ○印と ※印を附した場合は共に適用する。						◎屋根保護防水 防水立上りの保護コンクリートの適用： ・適用しない ・適用する 防水立上りの保護コンクリートの工法： ・図示 ・	
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。						施工部位 工法／種別 備 考	
○国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版						・PHR階屋上 ・PIB／・B-1 ・B-2	
○国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版						・R階屋上 ・PIBI／・BI-1 ・BI-2 断熱材：t=	
・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版						・TIBI／・BI-1 ・BI-2 ・BI-3 断熱材：t=	
						・P2AI／・AI-1 ・AI-2 ・AI-3 断熱材：t=	
						・P2A／・A-1 ・A-2 ・A-3	
4. その他事項						◎屋根露出防水	
・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号（章番号を除く）に照合する						施工部位 工法／種別 備 考	
・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする						・PHR階屋上 ・M4C／・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4 仕上塗料；	
・各項目欄の番号(例：●公○章***、公***、●公***）は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する						・R階屋上 ・M3D／・D-1 ・D-2 仕上塗料；	
・各項目欄の番号(例：1.* ○○○○)は標準仕様書の番号（章番号を除く）に該当しない項目とする						・POD／・D-1 ・D-2 仕上塗料；	
						◇M3D工法及びPOD工法の脱気装置 脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・	
						◎屋根露出防水絶縁断熱工法	
						施工部位 工法／種別 備 考	
						・PHR階屋上 ・POD1／・DI-1 ・DI-2 仕上塗料；	
						・R階屋上 ・M3D1／・DI-1 ・DI-2 仕上塗料；	
						・M4D1／・DI-1 ・DI-2 仕上塗料；	
						脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・ 脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・	
						◎屋内防水	
						施工部位 工法／種別 備 考	
						・浴室 ・PIE／・E-1 ・E-2 保護層：普通コンクリート	
						・機械室 ・P2E／・E-1 ・E-2 保護層：軽量コンクリート	
						保護層：モルタルt=30	
						ルーフドレン廻りの断熱材の張仕舞い位置： ・製造メーカー推奨による ・図示	
						保護層のコンクリートの厚さ： ・100mm ※80mm ※60mm ・図示 ・	
						床面コンクリートの平坦さ： 表8.1.5【・a種 ・b種 ・c種】	
						防水立上がり部の保護： ・露出 ・コンクリート ・レンガ押え ・乾式保護材： 屋上排水溝： ・設置する ・設置しない	
						4. 改質アスファルトシート防水	
						改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※表3.4.1～3.4.3による ・製造所仕様による	
						粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※表3.4.1～3.4.3による ・製造所仕様による	
						露出防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による	
						露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・	
						◎屋根露出防水密着工法	
						施工部位 工法／種別 備 考	
						・PHR階屋上 ・M4AS／・AS-T1・AS-T2・AS-J2	
						・R階屋上	
						◎屋根露出防水絶縁工法	
						施工部位 工法／種別 備 考	
						・PHR階屋上 ・M3AS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3 脱気装置：・設置	
						・R階屋上 ・POAS／・AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3 脱気装置：・設置	
						◎屋根露出防水水断熱工法	
						施工部位 工法／種別 備 考	
						・PHR階屋上 ・M3ASI／・ASI-T1 ・ASI-J1 防湿層：・設置 脱気装置：・設置	
						・R階屋上 ・M4ASI／・ASI-T1 ・ASI-J1 防湿層：・設置 脱気装置：・設置	
						・POASI／・ASI-T1 ・ASI-J1 防湿層：・設置 脱気装置：・設置	

3章  
防水改修工事

5.2 材 料

5.3 種別及び工程

5.4 施 工

5.5 種別及び工程

5.6 材 料

5.7 目地寸法

5.8 シーリング材の試験

7.\* 保証年限

8.2 材 料

特記事項

5. 合成高分子ルーフィングシート防水  
ルーフィングシートの種類・厚さ： ※表3.5.1～3.5.3による  
絶縁用シート： ※発泡ポリレンシート・図示  
固定金具の材質： ・ステンレス・亜鉛めっき銅板・図示・製造所仕様による  
機械固定工法の断熱材の材質： ・図示・製造所仕様による  
機械固定工法の断熱材の厚さ： ・図示・50mm・35mm  
接着工法の断熱材の材質： ・図示・製造所仕様による  
接着工法の断熱材の厚さ： ・図示・50mm・35mm

工法種別	種類／種別	厚さ(mm)
S-F1(S1-F1)	・加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	※1.2・1.5・2.0
S-F2(S1-F2)	・エポキシ酸エステル樹脂系／・均質シート	・1.2・1.5・※2.0
S-M1(S1-M1)	・加硫ゴム系／・均質シート・複合シート	・1.2・※1.5・2.0
S-M2(S1-M2)	・エポキシ酸エステル樹脂系／・均質シート	・1.2・※1.5・2.0
S-M3(S1-M3)	・塩化ビニル樹脂系／・均質シート・複合シート	※1.2・1.5・2.0

施工部位	工法／種別	備 考
・PHR階屋上	・POS・SOS1・S4S・S4S1／・S-F2・S1-F2	
・R階屋上	・S3S・S3S1／・S-F1・S1-F1	
	・M4S・M4S1／・S-M1・S1-M1	
	・S-M2・S1-M2	
	・PIS／・S-G1	

脱気装置：・設置  
断熱材の種類： ・押出法ポリスチレンフォーム3種B(スパン付)・図示  
断熱工法の断熱材の厚さ： ・25mm・35mm・50mm  
目地処理（防水種別S-C1の場合）：  
PCコンクリート下地の場合： ・図示  
ALC下地の場合： ・図示  
入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）：  
PCコンクリート下地の場合： ・図示  
ALC下地の場合： ・図示  
機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・製造所仕様による  
保護層の施工（防水種別S-C1の場合）：  
平場のモルタル床塗り厚さ： ・30mm  
平場のコンクリートの厚さ： ・60mm・80mm  
立上りのモルタル塗りの厚さ： ※7mm以下

6. 塗膜防水

施工部位	工法／種別	備 考
・PHR階屋上	・POX／・X-1・X-2・X-1H・X-2H	脱気装置：・設置
・R階屋上	・L4X／・X-1・X-2・X-1H・X-2H	脱気装置：・設置
	・PIY／Y-2・P2Y／Y-2	

仕上塗装の種類： ・製造所仕様による・遮熱塗料  
仕上塗装の使用量：  
◎脱気装置  
種 類： ※製造所指定  
設置数量： ※製造所指定  
保護層： ・設置する・設置しない

7. シーリング

種類及び施工箇所： ・種類は表3.7.1により施工箇所は下表による  
ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する・使用しない  
施工箇所： ・ポリウレタン系シーリングで仕上げありの部位

施工部位	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年限
・各階打継部分	※表3.7.1による	15(W)x10(D)	3 年
・タイル伸縮目地		15(W)x10(D)	年
・ガラス止め付け		5(W)x5(D)	年
・サッシ廻り		20(W)x10(D)	年
			年

※簡易接着性試験・引張接着性試験  
シーリング保証書： ・提出する・提出しない  
・保証書（請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証）は各2通提出すること。

8. とい

軒どいの材種： ・アスファルト被覆銅板・耐候性被覆銅板  
縦どいの材種： ・配管用銅管・塩化ビニル管【・カーVP・VP・カーVU・  
掃除口： ・有・無  
飾り柵： ・塩ビ製・銅板製

3章  
防水改修工事

3.2 材 料

3.3 工 法

3.4 材 料

3.5 工 法

3.6 材 料

3.7 シーリング材充填工法

3.8 材 料

3.9 工 法

3.10 シーリング材の試験

3.11 保証年限

3.12 材 料

特記事項

8.2 材 料  
とい受け金物及び足金物の材質： ※表3.8.2・図示  
軒樋の取付間隔： ※表3.8.2・0.9m・1.2m  
壁樋の取付間隔： ※表3.8.2・1.2m・1.5m・図示  
ルーフドレーン： ・ステンレス製・鋳鉄製・アルミニウム製  
既存といの撤去及び降雨時の養生： ・仮設のといを設置する・図示  
銅管製といの防露巻き： ・行う・行わない  
施工箇所： ※表3.8.4による・図示  
ルーフドレーンの取替え： ・行わない・行う【・3.8.3(8)による・  
】

9. アルミニウム製笠木

施工部位	工法／種別	備 考
2Fバルコニー	・250形・300形・350形	折曲げ形状は図示
RFバルコニー	・オフセット形式・シール形式	折曲げ形状は図示

アルミニウム製笠木の厚み： ※2.0mm  
笠木本体の表面処理： ・AB-1・AB-2・AC-1・BA-1・BB-1・BC-1・C  
新規笠木の下地及び撤去後の補修：  
板材折曲げ型笠木の取付方法： ・図示

1.4 改修工法の種類

1.5 改修後の仕上げの種類

2.4 材 料

2.5 樹脂注入工法

2.6 シーリング材充填工法

3.5 材 料

4章  
外壁改修工事

4.2 材 料

4.3 工 法

4.4 材 料

4.5 工 法

4.6 材 料

4.7 工 法

4.8 工 法

4.9 工 法

4.10 工 法

4.11 工 法

4.12 工 法

4.13 工 法

4.14 工 法

4.15 工 法

4.16 工 法

4.17 工 法

4.18 工 法

4.19 工 法

4.20 工 法

4.21 工 法

4.22 工 法

4.23 工 法

4.24 工 法

4.25 工 法

4.26 工 法

4.27 工 法

4.28 工 法

4.29 工 法

4.30 工 法

4.31 工 法

4.32 工 法

4.33 工 法

4.34 工 法

4.35 工 法

4.36 工 法

4.37 工 法

4.38 工 法

4.39 工 法

4.40 工 法

4.41 工 法

4.42 工 法

4.43 工 法

4.44 工 法

4.45 工 法

4.46 工 法

4.47 工 法

4.48 工 法

4.49 工 法

4.50 工 法

4.51 工 法

4.52 工 法

4.53 工 法

4.54 工 法

4.55 工 法

4.56 工 法

4.57 工 法

4.58 工 法

4.59 工 法

4.60 工 法

4.61 工 法

4.62 工 法

4.63 工 法

4.64 工 法

4.65 工 法

4.66 工 法

4.67 工 法

4.68 工 法

4.69 工 法

4.70 工 法

4.71 工 法

4.72 工 法

4.73 工 法

4.74 工 法

4.75 工 法

4.76 工 法

4.77 工 法

4.78 工 法

4.79 工 法

4.80 工 法

4.81 工 法

4.82 工 法

4.83 工 法

4.84 工 法

4.85 工 法

4.86 工 法

4.87 工 法

4.88 工 法

4.89 工 法

4.90 工 法

4.91 工 法

4.92 工 法

4.93 工 法

4.94 工 法

4.95 工 法

4.96 工 法

4.97 工 法

4.98 工 法

4.99 工 法

4.100 工 法

4.101 工 法

4.102 工 法

4.103 工 法

4.104 工 法

4.105 工 法

4.106 工 法

4.107 工 法

4.108 工 法

4.109 工 法

4.110 工 法

4.111 工 法

4.112 工 法

4.113 工 法

4.114 工 法

4.115 工 法

4.116 工 法

4.117 工 法

4.118 工 法

4.119 工 法

4.120 工 法

4.121 工 法

4

4章外壁改修工事

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

4章外壁改修工事

5章建具改修工事

7.2材 料

7.3施工一般

1. 共通事項

工法： ・ かぶせ工法 ・ 撤去工法 ・  
新規建具用開口部の補強方法： ・ 図示 ・  
新規建具用開口部の範囲： ・ 図示 ・  
防火戸の指定： ・ 図示 ・  
・ 防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。  
建具見本の制作： ・ 必要 ・ 不要  
仮組の実施： ・ 行う ・ 行わない  
防犯建物部品の適用： ・ 図示 ・ 適用 ・ 適用しない  
ブラインドボックス等の再利用： ・ 再利用する ・ 撤去処分

2. アルミニウム製建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）
・ A種	S-4	A-3	W-4	70
・ B種	S-5			
・ C種	S-6	A-4	W-5	100

防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4  
断熱ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
断熱性の等級： ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 ・ H-4 ・ H-5  
防虫網の適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
網の材種： ※合成樹脂製 ・ ステンレス製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製  
形式： ・ 外面納まり可動式 ・ 外面納まり固定式  
建具枠の見込： ・ 図示 ・ 70 ・ 100 ・  
外部に面する建具の表面処理： ・ AB-1種 ・ AB-2種 ・ AC-1種 ・ AC-2種  
・ BA-1種 ・ BA-2種 ・ BB-1種 ・ BB-2種  
屋内の建具の表面処理： ・ ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ C種  
表面色： ・ 標準色 ・ 特注色  
引違い建具落下防止機構： ・ 採用する ・ 採用しない  
結露水の処理方法： ・  
水切り板： ・ 取付ける ・ 取付けない  
ぜん板： ・ 取付ける ・ 取付けない

3. 樹脂製建具

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法（mm）	
・ A種	S-4	A-4	W-4	70	
・ B種	S-5		W-5		
・ C種	S-6				

防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
遮音性の種別： ・ T-1 ・ T-2  
断熱ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
断熱性の種別： ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8  
ガラスの形式： ・ 複層ガラス ・ 単層ガラス ・ 三重ガラス ・  
建具の表面色： ・ 標準色 ・ 特注色  
水切り板： ・ 取付ける ・ 取付けない  
ぜん板： ・ 取付ける ・ 取付けない

4. 鋼製建具

性能及び構造： ※JIS規格による ・  
外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・  
耐震ドアセットの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
面内変形追随性の等級： ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3  
点検口のくつずり： ・ ステンレス製 ・ スチール製 ・  
鋼板類の厚さ： ※表5.4.2による ・ 図示 ・  
鋼板類の厚さ（W≧950mm、H≧2,100mmの場合）： ・ 図示 ・  
防音ドアセット、サッシの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
遮音性の等級： ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4  
ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・ 図示  
くつずりの仕上げ： ・ ステンレス製【 ・ HL ・ 2B ・ 】 ・ 枠と同等の塗装 ・ 亜鉛めっき処理

5. 鋼製軽量建具

性能及び構造： ※JIS規格による ・  
耐震ドアセットの適用： ・ 適用 ・ 適用しない ・ 図示  
面内変形追随性の等級： ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3

5.2性能及び構造

7.2材 料

7.3形状及び仕上げ

7.4工 法

8.1一般事項

8.2材質、形状及び寸法

8.3取付け施工

8.4鍵

9.2性能・機構

6. マスチック塗材塗り仕上げ外壁等の改修

種類： ・ A種 ・ B種

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4章外壁改修工事

5章建具改修工事

項 目

特記事項

5章建具改修工事

項 目

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項

4.9～4.15

7.2材 料

4.16目地改修工法

5.2材 料

5.4既存塗膜等の除去、  
下地処理及び下地調整

6.2材料及び工法

特記事項







6章 内装改修工事	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項	章	項 目	特記事項												
	5.6～5.9 ***木材、工法	薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法： ※標準仕様書による ・ ボート原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法： ・ ◎防虫処理 木材の防虫処理： ・ 樹種： ※下表を標準とし変更する場合は、事前に監督員の承諾を得る事。	6章 内装改修工事	9.2 材 料	9. カーベツト敷き ◎織じゅうたん 種別： ・A種 ・B種 ・C種 パイル形状： ・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループ 併用 色柄： ※無地 ・柄物 帯電性の適用： ・適用しない ・適用する（人体帯電圧： ※3kV以下 ・ ） ◎タフテッドカーベツト パイル形状： ・ループ ・カット ・ パイル長： ・図示 ・ mm ◎タイルカーベツト	6章 内装改修工事	13.2 材 料 13.3 工 法	材 種	樹種、防虫・難燃・防蟻処理等	厚さ (mm)	工法									
		使用箇所			材 種			・天然木化粧合板	化粧単板のそば包み	・4.2 ・	・A種									
		・RC造等の内部間仕切軸組及び床組			・間仕切軸組			※杉 ・	・行う ※行わない 化粧単板の厚さ ※0.3未満 ・		※B種									
		・窓、出入口、その他			・吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居			・桧 ・	・特殊加工化粧合板	表面仕上げの種類 ・ラミン ・ホリエツル ・	・4.0 ・3.0	・A種 ※B種								
		・床板張り			・縁甲板、上がり框			・桧 ・	普通合板の防虫処理： ※行わない ・行う 天然木化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う 特殊加工化粧合板の防虫処理： ※行わない ・行う せっこうボードの目地処理： ・継目処理工法 ・目渡し工法【 ・ペペルエツジ ・スカリエツジ 】 突付け工法【 ・ペペルエツジ ・スカリエツジ 】 遮音シール材： ・アクリル系シーリング材 ・ジョイントセメント											
		・壁及び天井下地						※杉又は松 ・	14. 壁紙張り 防火性能の指定： ・下表による ・図示 ・											
		樹種： ・ナラ ・ケヤキ ・ササ ・クリ ・シジギ ・																		
		使用箇所： ・																		
		種別： ・真物 ・貼物																		
		樹種： ・																		
	使用箇所： ・																			
	5.* 壁 木 5.* 銘 木	6. 軽量鉄骨天井下地 種類： ※表6.6.1による ・ 屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ・≧@900mm ・ 屋外の野縁の間隔： ※表6.6.2による ・ 既存埋込インサートの使用： ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験： ・行わない ・行う 試験法： ・標準仕様書による ・図示 ・ 吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法： ・図示 ・ 天井ふところが3mを超える場合の補強方法： ・図示 ・ 屋外の軒天井、ピロティー天井の補強： ・図示 ・吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。 ・天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。	6章 内装改修工事	9.3 工 法	◎下敷き材 下敷き材： ※反毛フェルト第2種2号(呼厚8mm) ・ タフテッドカーベツトの工法： ・グリップ工法 ・全面接着工法 ・ 織じゅうたんの接合法： ※ヒートボンド工法 ・手縫い(づり縫い) タイルカーベツトの敷き方(平場)： ※市松敷き ・ (階段部分)： ※模様流し ・	6章 内装改修工事	14.2 材 料	品 質	検定区分	施工箇所										
		10. 合成樹脂塗床 種 類			仕上げ種類			備 考	・セリフン系	・1級 ・2級 ・										
		・弾性セリフン塗り床材			※平滑 ・防滑 ・つや消し			F☆☆☆☆	・織物系	・1級 ・3級 ・4級 ・										
		・エポキシ樹脂塗り床材			・薄膜流し展べ			F☆☆☆☆	・プラスチック系	・1級 ・2級 ・										
		・厚膜流し展べ： ※平滑 ・防滑						モルタル面及びプラスター面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種 せっこうボード及びその他ボード面の下地調整： ・RA種 ※RB種 ・RC種												
		・樹脂セリフン： ・平滑 ・防滑						15. モルタル塗り モルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料 既製目地： ・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等： ・図示 ・ 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地 ・												
11. フローリング張り フローリング： ※F☆☆☆☆ ・図示 接着剤： ※F☆☆☆☆ ・図示		16. タイル張り 伸縮調整目地の位置： ※@4m(縦・横共) ・図示 ・ タイルの見本焼き： ・行う ・行わない タイルの試験張り： ・行う ・行わない タイルの種類： ・図示 ・下表による ・																		
種 類		材 種			工 法			形式寸法等 (mm) LxWx t	施工箇所			形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備 考			
・フローリングボード1等		・ナラ ・			・釘留め工法(根太張)			・500 (L)x75 (W)x15 (t) 以上			有	無	標準	特注	施釉	無釉				
					・釘留め工法(直張り)						・	・	・	・	・	・				
		・接着工法				・	・	・	・	・	・									
・フローリングブロック等	・ナラ ・ササ ・	・釘留め工法(根太張)	・303x303 (L)x15 (t) 以上			・	・	・	・	・	・									
		・釘留め工法(直張り)				・	・	・	・	・	・									
・複合フローリング	・ナラ ・ササ ・	・釘留め工法(根太張)	・A種 ・B種 ・C種			・	・	・	・	・	・									
		・釘留め工法(直張り)	・A種 ・B種 ・C種			・	・	・	・	・	・									
		・接着工法	・A種 ・B種 ・C種			・	・	・	・	・	・									
7.3 形式及び寸法 7.4 工 法	7. 軽量鉄骨壁下地 種類： ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ・ スタッドの高さが5mを超える場合： ・図示 ・ 開口部の補強： ※標準仕様書6.7.4による ・図示 ・	6章 内装改修工事	11.2 材 料	仕上げ： ・ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステイン塗り ・既製仕上げ	6章 内装改修工事	15.3 材 料	◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・ 張付けモルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料 タイルの種類： ・図示 ・下表による ・													
	8. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料： ・図示 ・下表による ・			16.1 一般事項																
	種 類			記号			色柄	厚さ (mm)	16.3 有機系接着剤によるタイル張り											
	・発泡層のないビニル床シート			※FS ・NS			※無地 ・マープル	※2.0 ・2.5	施工箇所						形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備 考
	・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア)			・DO				※2.3 ・3.5			有	無	標準	特注	施釉	無釉				
											・	・	・	・	・	・				
	ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料： ・図示 ・下表による ・			16.4 有機系接着剤によるタイル張り																
	種 類			厚さ (mm)			◎タイルの役物 使用箇所： ・出隅 ・入隅 ・幅木 ・まぐさ ・窓台 製造方法： ・接着成型品 ・一体成型品 壁タイル張り工法： ・改良積上張り ・ 張付けモルタル： ・現場調合材料 ・既調合材料 タイルの種類： ・図示 ・下表による ・													
	・コンクリート強化コンクリート床タイル			半硬質 (CT)			※2.0 ・	施工箇所						形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性	色	釉薬	備 考	
	・コンクリート強化コンクリート床タイル			軟質 (CTS)			※2.0 ・			有	無	標準	特注	施釉	無釉					
・セメント強化コンクリート床タイル (HT)		※2.0 ・			・	・	・	・	・	・	・									
・ゴム床タイル	・無地 ・マープル	・4.0 ・			・	・	・	・	・	・	・									
8.2 材 料 8.3 工 法	接着剤の材料及び放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ ◎帯電防止床シート張り 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値(1.0x10 <sup>10</sup> Ω) ・ 厚さ： ・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・ ◎帯電防止床タイル張り 種類： ・ 性能： ・体積抵抗値(1.0x10 <sup>10</sup> Ω) ・ 寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示 ◎視覚障害者用床タイル張り 種類： ・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム裏面CON ・せっ器質タイル ・コンクリート 厚さ： ・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・ ◎耐動荷重性床シート張り 種類： ・ 厚さ： ・ mm ・ ◎防滑性床シート張り 種類： ・ 厚さ： ・ mm ・ ◎防滑性床タイル張り 種類： ・ 寸法厚さ： ・300x300x2.0mm ・500x500x3.0mm ・図示 ビニル幅木の厚み： ※1.5mm以上 ・ ビニル幅木の高さ： ※60mm ・100mm ・300mm ・ 下地の工法： ※標準仕様書6.8.3(1)による ・図示 目地処理場合の工法： ※熱溶接工法 ・図示 ・	6章 内装改修工事	12.2 材 料	13. せっこうボード、その他ボード及び合板張り 規格名称	種 類	記号	厚さ (mm)	17.2 材 料												
	木質系セメント板			・木毛セメント板	・HW ・NW	・25・50	17.2 材 料													
				・木片セメント板	・HF ・NF	・18 ・	17.2 材 料													
	せっこうボード製品			※図示 ・	※図示 ・	※図示 ・	17.2 材 料													
	繊維強化セメント板			・ケイ酸カルシウム板(タイプ2)	・0.8FK	※図示 ・	17.2 材 料													
					・1.0FK	※図示 ・	17.2 材 料													
	バーディケルボード® 繊維板			・	・RS・VS	※図示 ・	17.2 材 料													
					・DV・DO・DC	※図示 ・	17.2 材 料													
	火山性ガラス質複層板(VSボード®)			・	・	※図示 ・	17.2 材 料													
							17.2 材 料													
8.2 材 料 8.3 工 法	◎合板 材 種	樹種、防虫・難燃・防蟻処理等	厚さ (mm)	工法	17.2 材 料															
	・難燃合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合 ・ラワン ・ 不透明塗料塗りの場合 ・シナ（1級・2級） ・	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種	17.2 材 料															
	・普通合板	・ラワン ・ ・シナ ・	・1類 ・2類	・4 ・5.5 ・6 ・	・A種 ※B種	17.2 材 料														
	・捨張り用合板	・南洋材 ・ ・針葉樹 ・	・型枠用 ・構造用	・9 ・12 ・	・A種 ※B種	17.2 材 料														
	・有孔合板	・シナ ・	・1類 ・2類	・4 ・6 ・	・A種 ※B種	17.2 材 料														
					17.2 材 料															
					17.2 材 料															
					17.2 材 料															
					17.2 材 料															
					17.2 材 料															
令和7年度 入善町公共下水道事業																				
工 事 名		入善浄化センター建築改修工事																		
工事箇所		入 善 町 東 五 十 里 地 内																		
図 称		建築改修工事特記仕様書 (5)		縮 尺		1/-														
設計年月日		令和 年 月 日		番 号		A-7														
課 長 係 長		合 議		審 査		設計者														
入 善 町 役 場																				

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建築改修工事特記仕様書 (5)	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-7	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

項 目		特記事項																			
7章 塗装改修工事	1.3材 料	1. 共通事項 塗料の防火材料の指定： ・図示 ・無 ・有（	7章 塗装改修工事																		
	2.2～2.4***下地調整	2. 下地調整																			
	<table><tr><th>塗装面の種類</th><th>種 別</th></tr><tr><td>木部（不透明塗料塗り部）</td><td>※RA種 ・RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>木部（透明系塗料塗り部）</td><td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>モルタル、プaster面</td><td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>コンクリート、ALCパネル面</td><td>・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>押出成形セメント板</td><td>・RA種 ・RB種 ・RC種</td></tr><tr><td>せっこうその他のボード</td><td>継目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種</td></tr></table>			塗装面の種類	種 別	木部（不透明塗料塗り部）	※RA種 ・RB種 ・RC種	木部（透明系塗料塗り部）	・RA種 ※RB種 ・RC種	鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種	モルタル、プaster面	・RA種 ※RB種 ・RC種	コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種	押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種	せっこうその他のボード	継目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種
	塗装面の種類	種 別																			
	木部（不透明塗料塗り部）	※RA種 ・RB種 ・RC種																			
	木部（透明系塗料塗り部）	・RA種 ※RB種 ・RC種																			
	鉄鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																			
	亜鉛めっき鋼面	・RA種 ※RB種 ・RC種																			
	モルタル、プaster面	・RA種 ※RB種 ・RC種																			
	コンクリート、ALCパネル面	・RA種 ※RB種 ・RC種																			
押出成形セメント板	・RA種 ・RB種 ・RC種																				
せっこうその他のボード	継目処理工法の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種 その他の場合： ・RA種 ※RB種 ・RC種																				
3.1～3.4***素地ごしらえ	3. 素地ごしらえ																				
<table><tr><th>塗装面の種類</th><th>種 別</th></tr><tr><td>木部（不透明塗料塗り部）</td><td>※A種 ・B種</td></tr><tr><td>木部（透明系塗料塗り部）</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>・A種 ※B種 ※C種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・A種 ・B種</td></tr><tr><td>モルタル、プaster面</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>コンクリート、ALCパネル面</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>押出成形セメント板</td><td>・A種 ※B種</td></tr><tr><td>せっこうその他のボード</td><td>継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種</td></tr></table>		塗装面の種類	種 別	木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種	木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種	鉄鋼面	・A種 ※B種 ※C種	亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種	モルタル、プaster面	・A種 ※B種	コンクリート、ALCパネル面	・A種 ※B種	押出成形セメント板	・A種 ※B種	せっこうその他のボード	継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種		
塗装面の種類	種 別																				
木部（不透明塗料塗り部）	※A種 ・B種																				
木部（透明系塗料塗り部）	・A種 ※B種																				
鉄鋼面	・A種 ※B種 ※C種																				
亜鉛めっき鋼面	・A種 ・B種																				
モルタル、プaster面	・A種 ※B種																				
コンクリート、ALCパネル面	・A種 ※B種																				
押出成形セメント板	・A種 ※B種																				
せっこうその他のボード	継目処理工法の場合： ※A種 ・B種 その他の場合： ・A種 ※B種																				
4.2塗料種別	4. 錆止め塗料塗り 鉄鋼面（上塗りEP-Gの場合）： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面（上塗りSOPの場合）： ※A種 ・B種																				
4.3錆止め塗料塗り	鉄鋼面見え掛り部分（新規塗装：上塗りSOP、及びEP-Gの場合）： ※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え隠れ部分（新規塗装：上塗りSOP、及びEP-Gの場合）： ・A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面見え掛り部分（塗替え：上塗りSOP、及びEP-Gの場合）： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面見え隠れ部分（塗替え：上塗りSOP、及びEP-Gの場合）： ・A種 ・B種 ※C種 鉄鋼面（DPの場合）： ※A種 ・B種 ・C種																				
5.2塗料の種別	5. 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 種別： ※1種 ・2種																				
5.3～5.5***塗料塗り	木部の種別（新規外部）： ※A種 ・B種 木部の種別（新規内部）： ・A種 ※B種 木部の種別（多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 木部の種別（塗替え）： ・A種 ※B種 鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 亜鉛めっき鋼面の種別（塗替え）： ※A種 ・B種 亜鉛めっき鋼面の種別（新規）： ・A種 ※B種																				
6.2***塗料塗り	6. クリヤーラッカー塗り（CL） 種別： ・A種 ※B種																				
7.2***塗料塗り	7. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） 種別： ・A種 ※B種																				
8.2～8.4***塗料塗り	8. 耐候性塗料塗り（DP） 鉄鋼面の上塗り塗料の等級： ㊦1級 ・2級 ・3級 亜鉛めっき鋼面の上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 押出成形セメント板面の種別： ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種																				
9.2～9.5***塗料塗り	9. つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G） コンクリート面及びモルタル面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 プaster面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 せっこうボード、及びその他のボード面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め： ・標準仕様書7.9.2(b)による ・図示 ・ 屋内木部の種別（新規）： ※A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（多孔質広葉樹）： ・A種 ・B種 ・C種 屋内木部の種別（塗替え）： ・A種 ※B種 ・C種 屋内鉄鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種 屋内亜鉛めっき鋼面の種別： ・A種 ※B種 ・C種																				
10.2***塗料塗り	10. 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） 種別： ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合のしみ止め： ・標準仕様書7.13.2(b)による ・図示 ・																				

項 目		特記事項																
8章 耐震改修工事	11.2 ***塗料塗り	1 1. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） 種別： ・A種 ※B種	8章 耐震改修工事															
	12.2 ***塗料塗り	1 2. ステイン塗り 塗料の種別： ・図示 ・																
	13.2 ***塗料塗り	1 3. 木材保護塗料塗り（WP） 種別： ・A種 ※B種																
	1.1*コンクリート工事	1. 共通事項 ・本章の事項は構造特記仕様書による																
	1.1*鉄骨工事	・本章の事項は構造特記仕様書による																
	1.1*鉄筋工事	・本章の事項は構造特記仕様書による																
	1.3コンクリートの種類	コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・その他； 使用骨材による種類： ・普通コンクリート（下表による） ・図示 ・構造特記仕様書による																
	<table><tr><th>施工部位</th><th>設計基準強度（N/mm2）</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・構造躯体（基礎～ 階）</td><td>30</td><td></td></tr><tr><td>・構造躯体（ 階～ 階）</td><td>24</td><td></td></tr><tr><td>・構造躯体（ 階～ 階）</td><td>21</td><td></td></tr><tr><td>・捨てコンクリート</td><td>・18 ・21</td><td></td></tr></table> 使用骨材による種類： ・軽量コンクリート（下表による） ・図示 ・構造特記仕様書による			施工部位	設計基準強度（N/mm2）	備 考	・構造躯体（基礎～ 階）	30		・構造躯体（ 階～ 階）	24		・構造躯体（ 階～ 階）	21		・捨てコンクリート	・18 ・21	
	施工部位	設計基準強度（N/mm2）		備 考														
	・構造躯体（基礎～ 階）	30																
・構造躯体（ 階～ 階）	24																	
・構造躯体（ 階～ 階）	21																	
・捨てコンクリート	・18 ・21																	
<table><tr><th>施工部位</th><th>設計基準強度（N/mm2）</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>・18 ・21</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・18 ・21</td><td></td></tr></table>		施工部位	設計基準強度（N/mm2）	備 考		・18 ・21			・18 ・21									
施工部位	設計基準強度（N/mm2）	備 考																
	・18 ・21																	
	・18 ・21																	
1.4コンクリートの品質	スランプ： ※18cm ・図示 ・ コンクリート部材の許容差及び測定方法： ・標準仕様書8.1.4(d)(1)による ・ 打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）																	
<table><tr><th>施工部位</th><th>種別</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・化粧打放し部</td><td>A種</td><td></td></tr><tr><td>・打放し補修下地部</td><td>B種</td><td></td></tr><tr><td>・基礎部</td><td>C種</td><td></td></tr></table>		施工部位	種別	備 考	・化粧打放し部	A種		・打放し補修下地部	B種		・基礎部	C種						
施工部位	種別	備 考																
・化粧打放し部	A種																	
・打放し補修下地部	B種																	
・基礎部	C種																	
1.5鉄骨製作工場	コンクリートの仕上りの平坦さ： ・a種 ・b種 ・c種 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工管理技術者の配置： ・する ・しない																	
2.1鉄 筋	2. 材 料 鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・ 溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・ あと施工アンカーの種類： ・金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示 ・ ◎金属系アンカー 引張耐力： ・図示 ・ せん断耐力： ・図示 ・ アンカー本体の径： ・図示 ・ アンカー本体の埋込深さ： ・図示 ・ アンカー本体のセット方式： ・図示 ※本体打込み式改良型 ・ 接合筋の径及び長さ： ・図示 ・ ◎接着系アンカー 引張耐力： ・図示 ・ せん断耐力： ・図示 ・ アンカーの種類： ・図示 ・カギ型 ・ アンカー筋の径： ・図示 ・ アンカー筋の埋込深さ： ・図示 ・ アンカー筋の種類： ・図示 ※異形棒鋼 ・ アンカー筋の新設壁内への定着長さ： ・図示 ・ あと施工アンカーの性能確認試験： ・行う ・行わない ・ セメントの種類： ※普通ポルトランドセメント ※混合セメントA種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケルスラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 鋼スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ細骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・ モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm2 ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・240mm以上 型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・																	
2.2溶接金網																		
2.4あと施工アンカー																		
2.5コンクリートの材料及び割合																		
2.6構造体用以外の材料及び割合																		
2.7型枠の材料																		
<table><tr><th>種類</th><th>種別・厚さ</th><th>材質</th></tr><tr><td>・合板</td><td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm ・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td><td>※複 合 ※南洋材</td></tr><tr><td>・床型枠用鋼製デッキプレート</td><td></td><td>・針葉材</td></tr></table> スリーブ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管・鋼管 ・つば付き鋼管 ・鋼管 ・紙チューブ		種類	種別・厚さ	材質	・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm ・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※複 合 ※南洋材	・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材								
種類	種別・厚さ	材質																
・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm ・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※複 合 ※南洋材																
・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材																

項 目		特記事項													
8章 耐震改修工事	2.8鋼 材	鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・構造特記仕様書による ・	8章 耐震改修工事												
	2.9高力ボルト	種類： ・トルク型高力ボルト2種（S10T） ・JISの高力ボルト2種（F10T） ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種（F8T相当） 高力ボルトの径： ・図示 ・ 表8.2.9以外の溶接材料： ・図示 ・ スタッドの規格、形状、寸法等： ・下表による ・図示 ・													
	2.10溶接材料														
	2.11スラブ	<table><tr><th>施工部位</th><th>規格番号</th><th>形状、寸法</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・2階床より上部各階床スラブ</td><td>JIS B 1198</td><td></td><td>・形状、寸法は図示</td></tr><tr><td>・屋根スラブ</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		施工部位	規格番号	形状、寸法	備 考	・2階床より上部各階床スラブ	JIS B 1198		・形状、寸法は図示	・屋根スラブ			
	施工部位	規格番号		形状、寸法	備 考										
	・2階床より上部各階床スラブ	JIS B 1198			・形状、寸法は図示										
	・屋根スラブ														
	2.12柱底均しモルタル及びびり材材	柱底均しモルタル： ※無収縮モルタル ・図示 ・													
	2.13連続縦継ぎシート及び含浸接着樹脂等	材料： ・図示 ・ 工法： ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等： ・図示 ・ 引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・ 杭の材料： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 杭の継手、工法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・													
	2.14鋼材の材料試験等														
2.15基礎工事に用いる材料	3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類： ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書8.3.4による ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書8.3.4による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への梁引っぱり鉄筋の定着長さ： ※表8.3.4による ・図示 ・ 折曲げ定着の方法： ※図8.3.3による ・図示 ・ 機械式定着工法の適用箇所、種類： ・図示 ・														
3.4継手及び定着	鉄筋等のかぶり厚さ： ※表8.3.6による ・図示 土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）： ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・ 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 壁の配筋： ・図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・ 抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・														
3.5鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 適用箇所： ・図示 ・ 性能・種類等： ・図示 ・ 鉄筋相互のあき： ・図示 ・ 施工完了後の継手部の試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。 抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度） 外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・ 超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当たり10箇所 ・抜き取り1ロット当たり5%程度 ・ 超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・ 適用箇所： ・図示 ・ 性能・工法等： ・図示 ・ 鉄筋相互のあき： ・図示 ・ 施工完了後の継手部の試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。 抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度） 外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・ 超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当たり30箇所 ・抜き取り1ロット当たり15%程度 ・ 超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・														
3.7壁の配筋及び補強															
3.8ガス圧接															
4.2機械式継手															
4.3溶接継手															
7.8型枠工事	7. コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない														

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建築改修工事特記仕様書 (6)	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-8	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

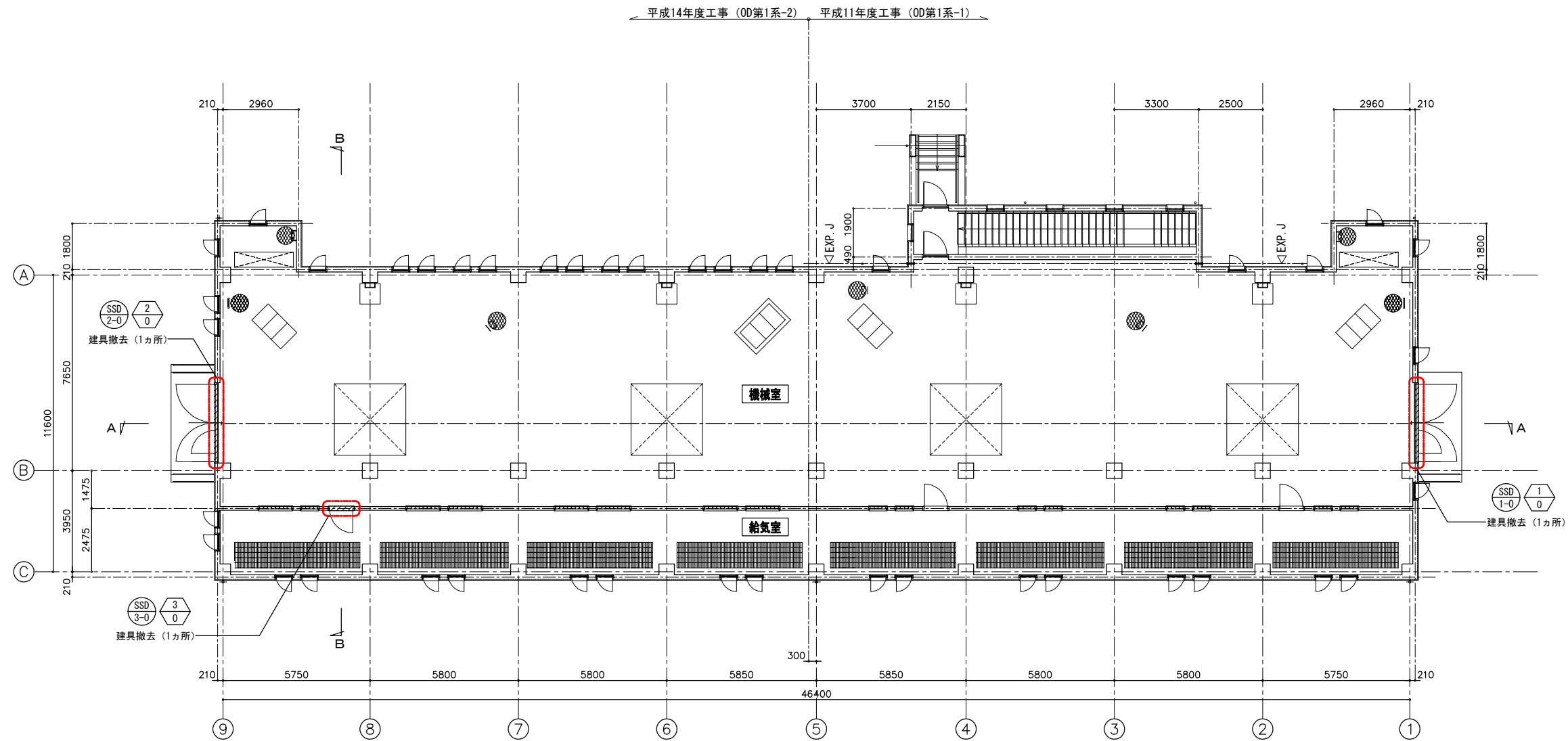
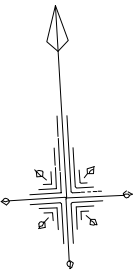
令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建築改修工事特記仕様書 (6)	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-8	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

章		項 目		特記事項		章		項 目		特記事項							
8章 耐震改修工事	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・			8章 耐震改修工事	21.2 既存部分の撤去等	2 1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(7)による ・協議による ・ 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・ 既存部分の目荒しの程度： ・図示 ・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.21.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・			8章 耐震改修工事	28.3 土工事	◎埋戻し及び盛土 種別： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・搬入まさ土（砂礫等の混入のない良質なものとし、水締め、機器による締固めとする） ◎建設発生土の処理 ・現場説明書による ・構外搬出適切処理 ※構内指定場所堆積 ・構内指定場所敷均し ・他現場に搬入（ ） ・ ・指定処分地（ ） ◎山留めの撤去 ・撤去 ・存置 ・ ◎試験杭 試験杭の位置、本数、寸法： ・図示 ・ ◎載荷試験 載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・ 試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎地盤の載荷試験 載荷試験： ・平板載荷試験 ・ 試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・ 試験方法： ・図示 ・ 試験報告書の記載事項等： ・図示 ・ ◎杭地業は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」4章「地業工事」による。					
		10.2 材料及び調査	1 0. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S)： ※6 N/mm ・				22.7 既存構造体との取合い 22.9 仕上げ	28.4 地業工事									
			11.1 一般事項	1 1. 無筋コンクリート コンクリートの種別： ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ・その他； 適用箇所： ・下表による ・図示					●公4章 地業工事 公3.1 一般事項 公3.2 材 料 公3.4 セメント工法								
	施工部位			設計基準強度 (N/mm2)							備 考						
				※18 ・21			スランプ：※15以下 ※18以下										
	12.4 穿 孔 12.7 施工確認試験	1 2. あと施工アンカー工事 埋込配管等の調査方法： ・電磁波レーダ方式 ・電磁波誘導法 ・図示 ・ 施工確認試験： ※引張試験機による引張試験 ・図示 ・ 試験の箇所数： ※3本/1ロット(径及び仕様毎) ・全数 ・図示 1ロットの定義： ※1日に施工された7ヶ-数(径及び仕様毎) ・図示				23.1 一般事項 23.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖7ヶ-巻き工法	23.2 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7ヶ-巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ		23.8 施 工	23.9 耐力試験	23.10 耐力試験				
		13.10 仮 組	1 3. 鉄骨工作 仮組の実施： ・行わない ・行う							24.6 施 工				25.2 施 工	25.3 耐力試験	25.4 耐力試験	
			1 4. 高力ボルト接合 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・ ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのナット回転法の回転量： ・120° ・														26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント
	14.2 摩擦面の性能及び処理 14.7 錆付け		1 5. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う 開先の形状： ・図示 ・ エンドタブの切除の有無： ・有り ・無し 【エンドタブの切除の適用箇所： ・図示 ・ 】 スカラップの形状： ・図示 ・ 溶接部の外観試験： ※告示第1464号第二号による試験； ※JASS/6 附則6(付表3「溶接」)； 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない			26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験		26.18 耐力試験						
		15.3 ***技能資格者 15.4 溶接の準備 15.7 溶接施工	1 6. 耐力試験 耐力試験の試験片の形状、寸法、数量等： ・図示 ・ 耐力試験の試験方法： ・図示 ・ 耐力試験の試験結果の取扱い： ・図示 ・							26.10 支承材又は減衰材の設置		26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験	26.18 耐力試験		
			15.12 溶接部の試験	1 7. 鉄骨の錆止め塗装 SRC造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面： ・図示 ・標準仕様書 表7.3.1【※A種 ・B種 ・C種】 ・ 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・標準仕様書 表7.3.1【・A種 ・B種 ・C種】 ・												26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント
	17.4 塗料の種類			1 8. 耐火被覆 耐火被覆材の種類及び性能： ※図示 ・ 耐火被覆材の工法： ※図示 ・吹付工法 ・巻付け工法 ・ 耐火被覆の耐火性能： ※図示 ・建築基準法に基づく所定の性能			26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
20.5 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合		2 0. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理： ※8.20.5(1)(7) ※8.20.5(1)(4) ・構造特記仕様書による ・図示 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・構造特記仕様書による ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント				26.16 検 査		26.17 耐力試験	26.18 耐力試験				
		22.2 既存部分の撤去等	2 1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(7)による ・協議による ・ 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・ 既存部分の目荒しの程度： ・図示 ・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.21.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	22.7 既存構造体との取合い 22.9 仕上げ		2 2. 鉄骨プレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ プレース設置後の仕上げ： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
23.1 一般事項 23.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖7ヶ-巻き工法			2 3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7ヶ-巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	2 4. 連続繊維補強工事 ひび割れ部の改修工法： ・標準仕様書4.1.4に準ずる ・図示 ・ 柱の隅角部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数量： ・図示 連続繊維補強材の付着強度試験の数量： ・図示 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	23.7 仕上げ		2 5. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
23.8 施 工			2 6. 免震改修工事 支承材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 支承材又は減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 支承材への耐火被覆の適用及び仕様： ・図示 ・ 免震化部に設置するエキスパンションジョイントの仕様及び工法： ・図示 ・製造所推奨仕様による ・ 検査の項目及び数量： ※検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする ・図示			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		23.9 耐力試験	2 7. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	23.10 耐力試験		2 8. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
24.6 施 工			2 9. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.2 施 工	2 0. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.3 耐力試験		2 1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(7)による ・協議による ・ 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・ 既存部分の目荒しの程度： ・図示 ・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.21.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.4 耐力試験			2 2. 鉄骨プレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ プレース設置後の仕上げ： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.5 耐力試験	2 3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7ヶ-巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.6 耐力試験		2 4. 連続繊維補強工事 ひび割れ部の改修工法： ・標準仕様書4.1.4に準ずる ・図示 ・ 柱の隅角部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数量： ・図示 連続繊維補強材の付着強度試験の数量： ・図示 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.7 耐力試験			2 5. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.8 耐力試験	2 6. 免震改修工事 支承材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目及び数量： ※検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする ・図示											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.9 耐力試験		2 7. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.10 耐力試験			2 8. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.11 耐力試験	2 9. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.12 耐力試験		2 0. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.13 耐力試験			2 1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(7)による ・協議による ・ 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・ 既存部分の目荒しの程度： ・図示 ・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.21.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.14 耐力試験	2 2. 鉄骨プレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ プレース設置後の仕上げ： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.15 耐力試験		2 3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7ヶ-巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.16 耐力試験			2 4. 連続繊維補強工事 ひび割れ部の改修工法： ・標準仕様書4.1.4に準ずる ・図示 ・ 柱の隅角部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数量： ・図示 連続繊維補強材の付着強度試験の数量： ・図示 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.17 耐力試験	2 5. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.18 耐力試験		2 6. 免震改修工事 支承材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目及び数量： ※検査項目は協議の上決定し、数量は全数とする ・図示				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.19 耐力試験			2 7. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数量： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・ 材料の防錆処置： ・図示 ※製造所仕様による 材料の設置位置寸法の許容差： ・図示 ・製造所仕様による 別置の材料の種類、形状、寸法、数量等： ・図示 ・製造所仕様による 割製補強筋の適用： ・図示 ・ 減衰材設置後の仕上げ： ・図示 ・ 検査の項目： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.20 耐力試験	2 8. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.21 耐力試験		2 9. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.22 耐力試験			2 0. 土工事及び地業工事 既存杭の撤去、方法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の杭頭処理等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の補強： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 既存杭の試験： ・構造特記仕様書による ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.23 耐力試験	2 1. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(7)による ・協議による ・ 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.21.2(1)(4)による ・ 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・協議による ・ 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・ 既存部分の目荒しの程度： ・図示 ・打継ぎ面の15～30%の凹面を施す 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.21.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・											26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査	26.17 耐力試験
	25.24 耐力試験		2 2. 鉄骨プレースの設置工事 割製補強筋の仕様： ・図示 ・ プレース設置後の仕上げ： ・図示 ・				26.10 支承材又は減衰材の設置	26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント	26.16 検 査		26.17 耐力試験						
25.25 耐力試験			2 3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7ヶ-巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打直し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・ 工法の種別： ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 柱脚の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 柱頭の隙間： ・図示 ・設ない ・設ける 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・			26.10 支承材又は減衰材の設置				26.13 仕上げ 26.14 耐火被覆 26.15 免震スリットジョイント		26.16 検 査	26.17 耐力試験				
		25.2															

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建築改修工事特記仕様書 (7)	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-9	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				



改 修 前

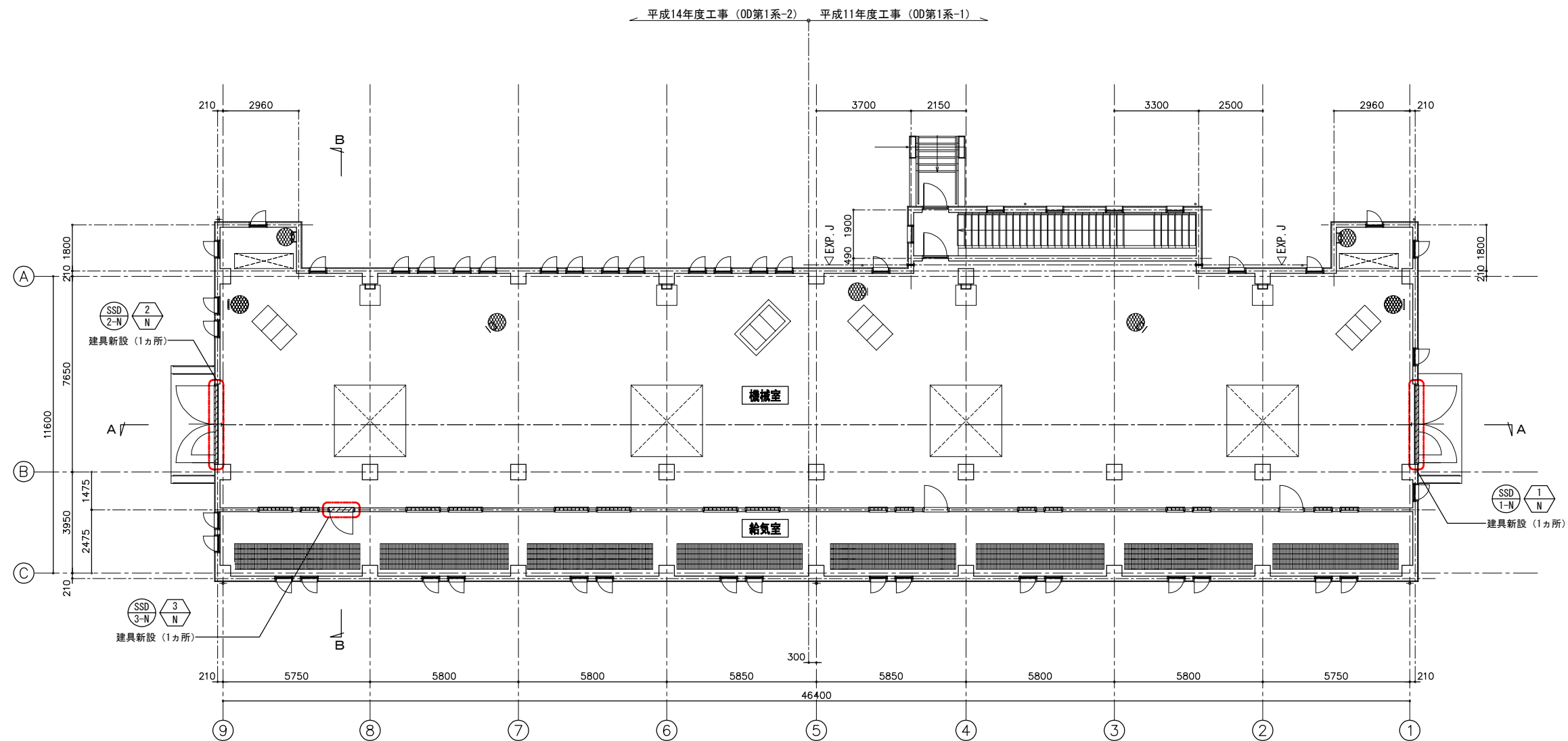
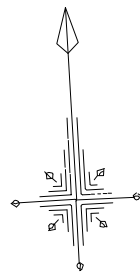


1 階 平 面 図 S=1/100

- <凡例>
- 改修対象箇所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	平面図 (改修前)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-11	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

改 修 後

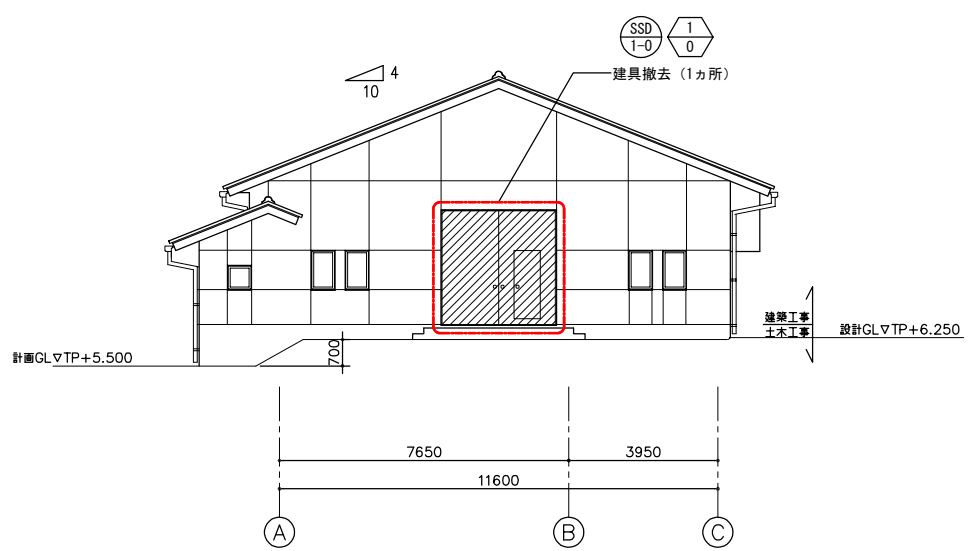
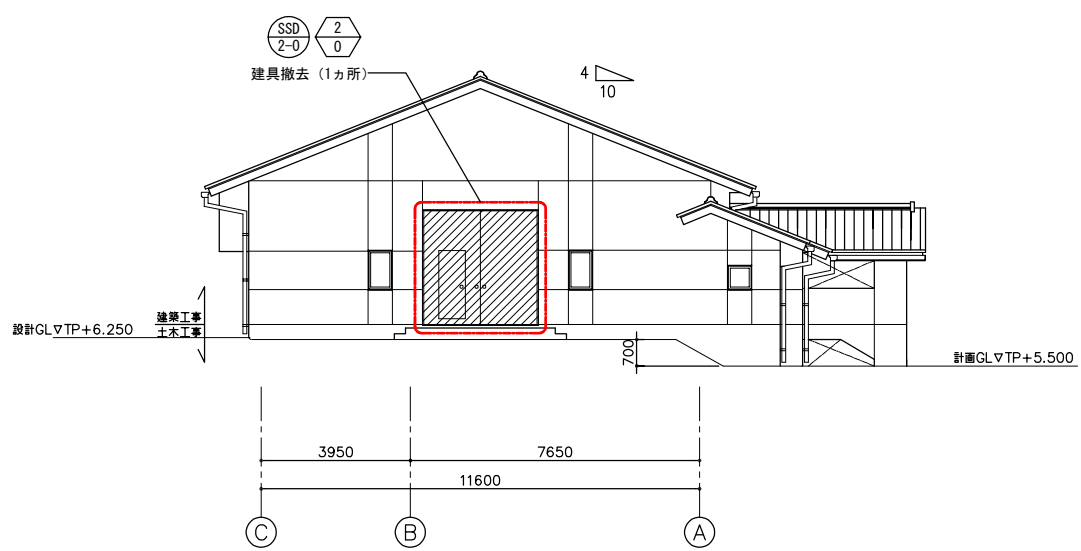
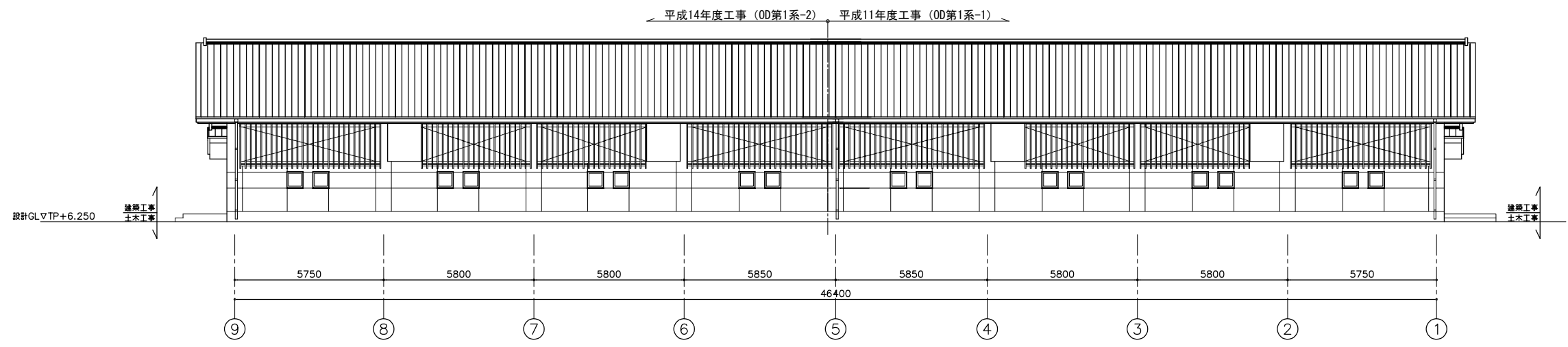
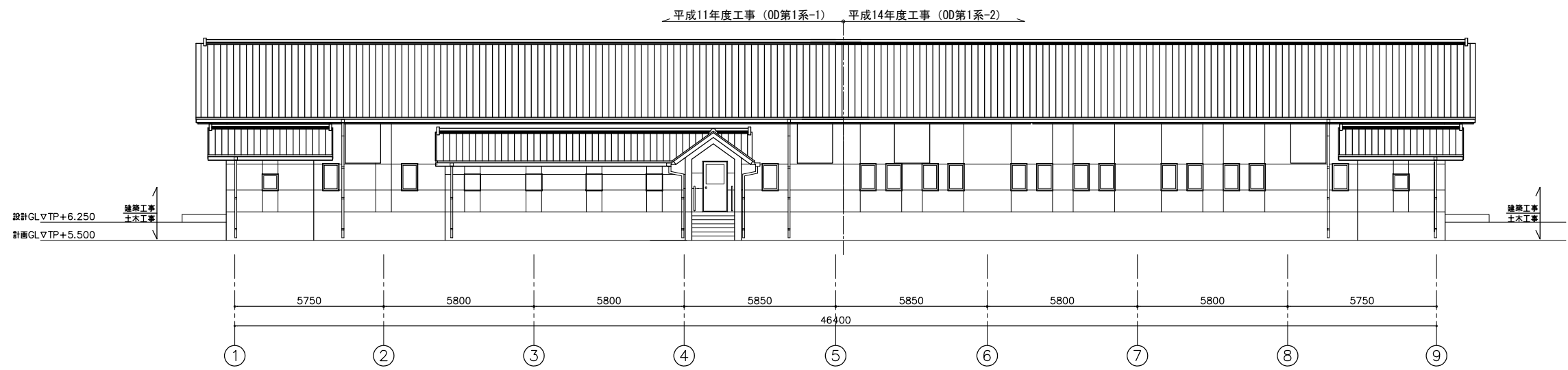


1 階 平 面 図 S=1/100

- <凡例>
- 改修対象箇所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	平面図 (改修後)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-12	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

改 修 前

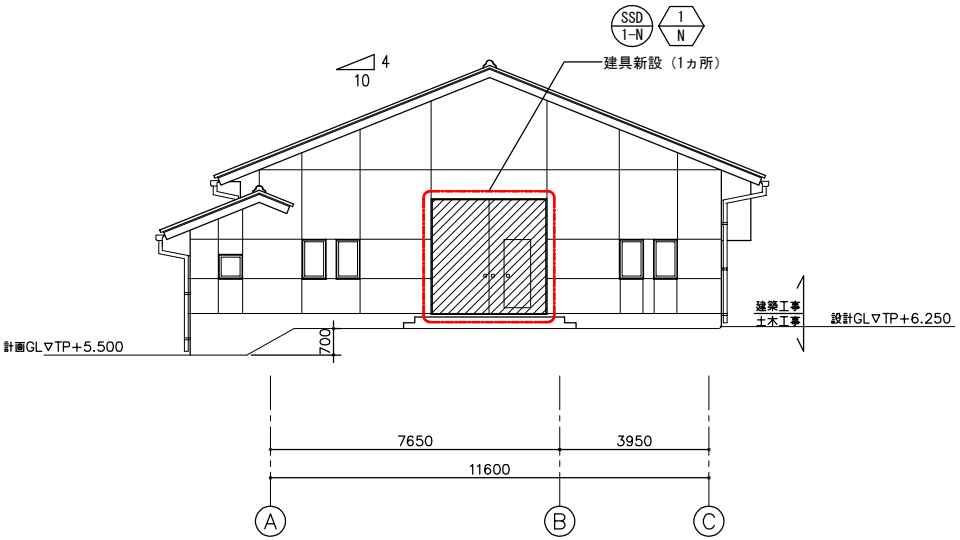
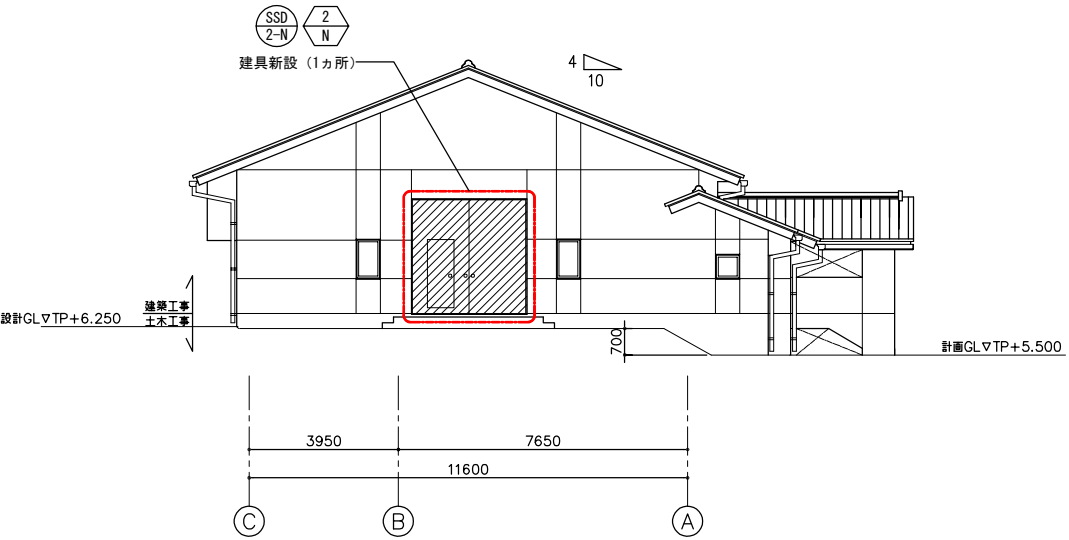
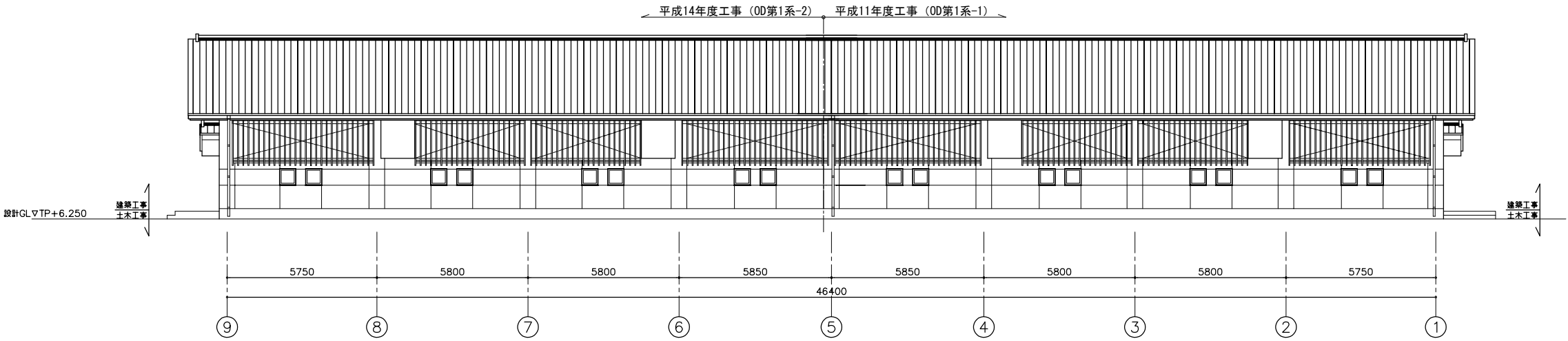
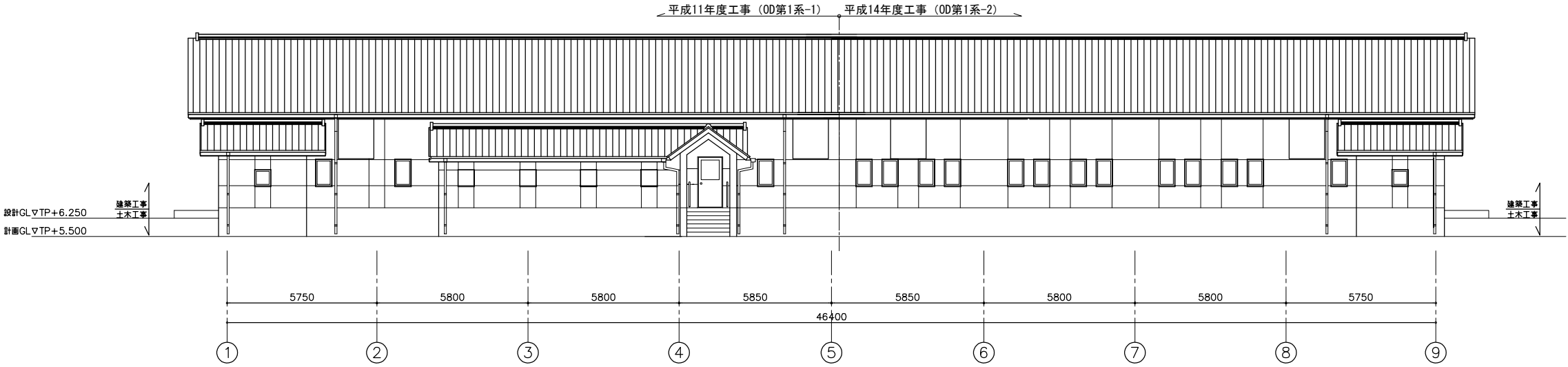


- <凡例>
- 改修対象箇所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	立面図 (改修前)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-13	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				



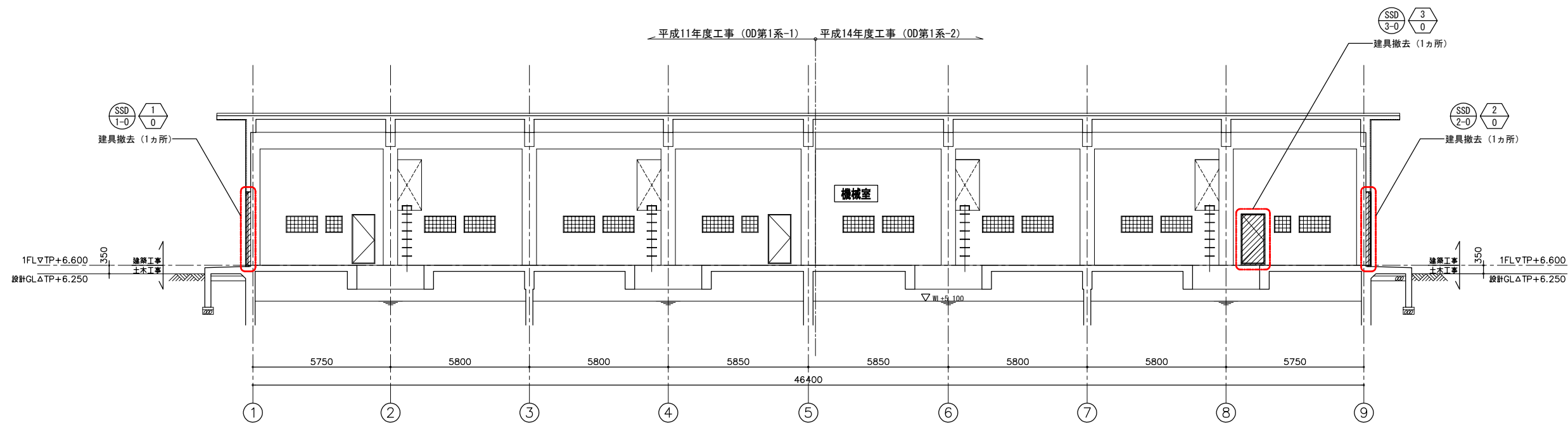
改 修 後



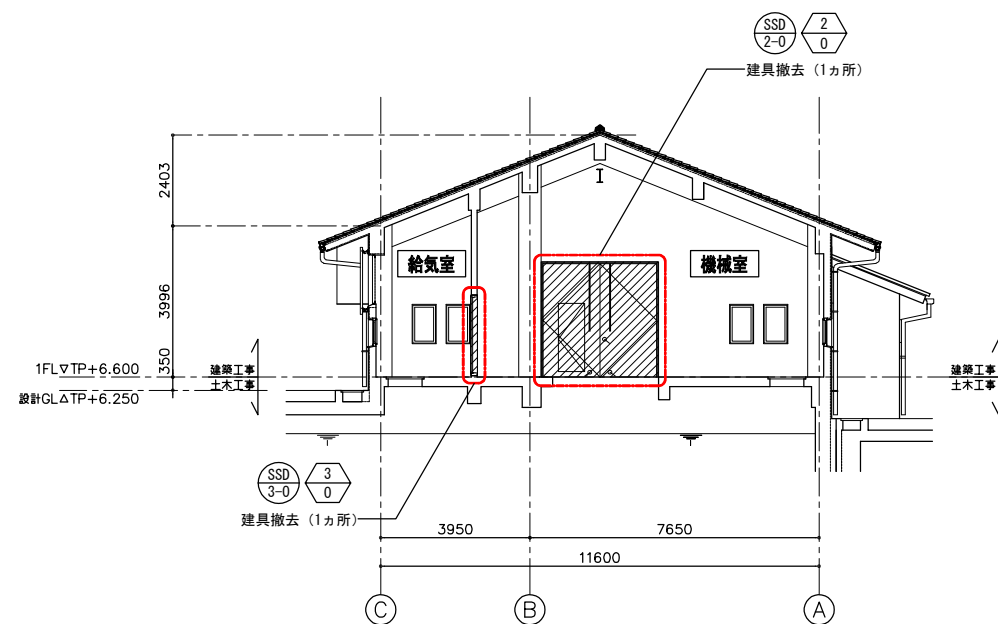
- <凡例>
- 改修対象箇所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	立面図 (改修後)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-14	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

改 修 前



A - A 断面図 S=1/100

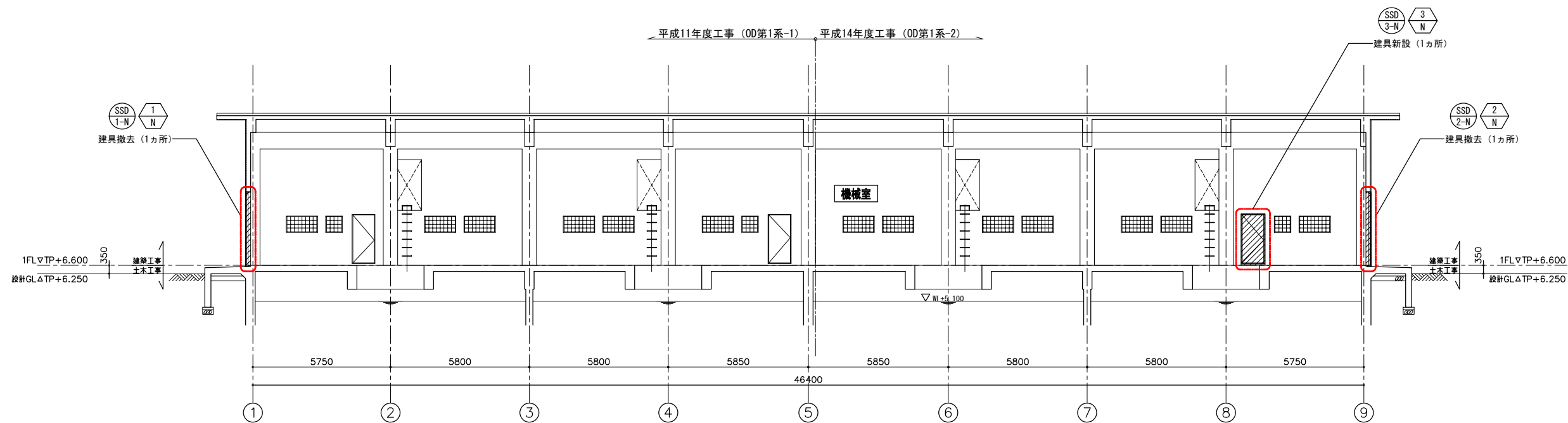


B - B 断面図 S=1/100

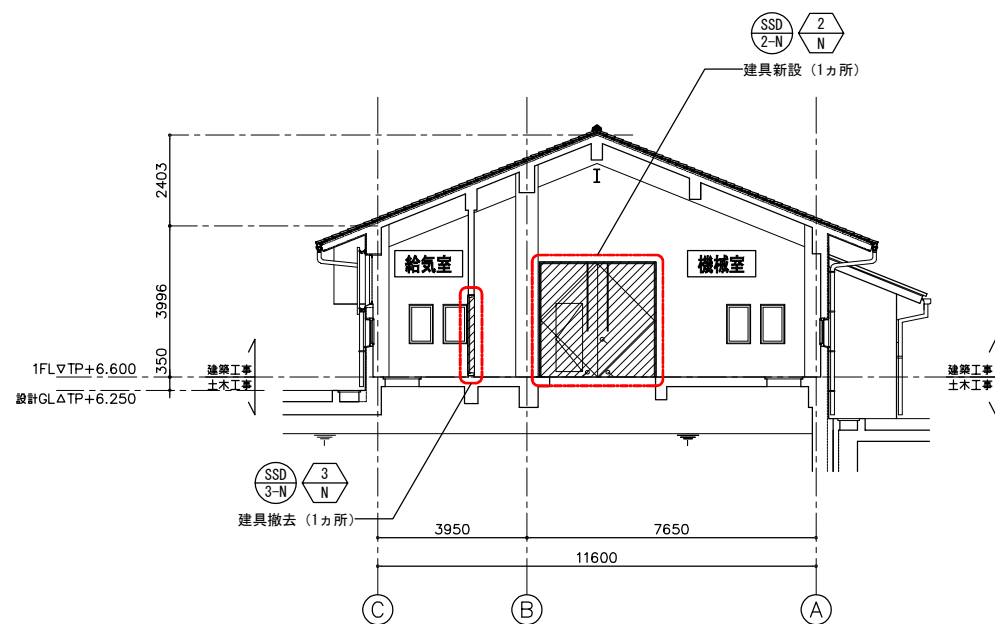
- <凡例>
- 改修対象個所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	断面図 (改修前)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-15	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

改 修 後



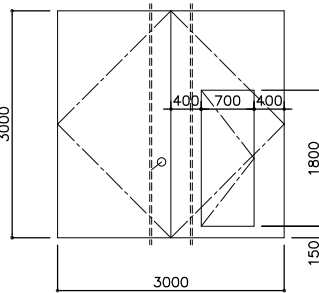
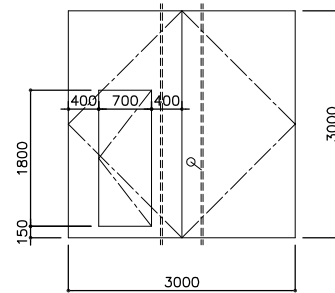
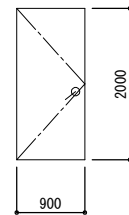
A - A 断面図 S=1/100

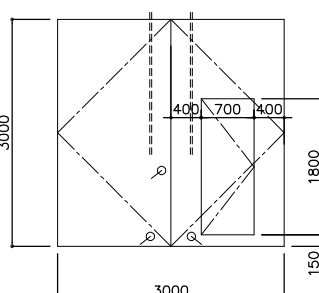
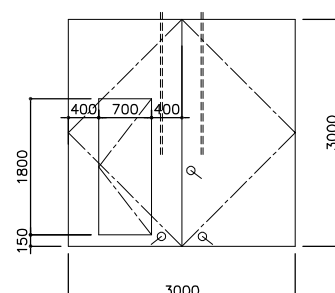
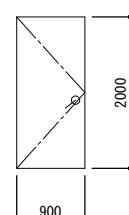


B - B 断面図 S=1/100

- <凡例>
- 改修対象箇所を示す
  - 撤去範囲を示す
  - 撤去建具符号を示す
  - 部分詳細図番号を示す

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	断面図 (改修前)	縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-16	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

建具表：撤去（改修前） S=1/50													
符号 ・ 名称 ・ 個数		<div>SSD 1-0</div>	ステンレス製両開き簡易気密ドア		撤去：1	<div>SSD 2-0</div>	ステンレス製両開き簡易気密ドア		撤去：1	<div>SSD 3-0</div>	ステンレス製片開き気密ドア		撤去：1
場所		1階 機械室				1階 機械室				1階 給気室			
仕上（枠共）		フッソ樹脂焼付塗装				フッソ樹脂焼付塗装				フッソ樹脂焼付塗装			
建 具	見込（ランマ）	60				60				40			
	硝子（ランマ）												
	ガラリ・ガラス												
建具枠	見込取合 吝摺	140	ステンレスSUS304 t=2.0			140	ステンレスSUS304 t=2.0			150	ステンレスSUS304 t=2.0		
枠記号	吝摺（水切）記号	SAT-3	h			SAT-3	h			AT-5	h		
建具金物		大型丁番（5管）3枚,大型戸当たり,あおり止め,内蔵型上落し シリンダー本締り錠,DC				大型丁番（5管）3枚,大型戸当たり,あおり止め,内蔵型上落し シリンダー本締り錠,DC				一般丁番（150,3枚）,両面締りハンドル,シリンダー本締り錠 DC（ストップ無し）			
その他		SAT				SAT				AT			
形状・寸法													

建具表：新設（改修後） S=1/50													
符号 ・ 名称 ・ 個数		<div>SSD 1-N</div>	ステンレス製両開き簡易気密ドア		新設：1	<div>SSD 2-N</div>	ステンレス製両開き簡易気密ドア		新設：1	<div>SSD 3-N</div>	銅製片開きドア（防火設備、気密・遮音（AT-G））		新設：1
場所		1階 機械室				1階 機械室				1階 給気室			
仕上（枠共）		フラッシュドア（SUS316＋フッ素樹脂塗装（中骨はSUS304））				フラッシュドア（SUS316＋フッ素樹脂塗装（中骨はSUS304））				フラッシュドア（SUS316＋フッ素樹脂塗装（中骨はSUS304））			
建 具	見込（ランマ）	60				60				40			
	硝子（ランマ）												
	ガラリ・ガラス												
建具枠	見込取合 吝摺	170		ステンレスSUS316 t=2.0		170		ステンレスSUS316 t=2.0		170		ステンレスSUS304 t=2.0	
枠記号	吝摺（水切）記号	SAT-3		h		SAT-3		h		AT-5		k	
建具金物		大型丁番（5管）4枚,大型戸当たり,あおり止め,大型上落し 両面締りハンドル,片面締りハンドル				大型丁番（5管）4枚,大型戸当たり,あおり止め,大型上落し 両面締りハンドル,片面締りハンドル				一般丁番（150,3枚）,両面締りハンドル,シリンダー本締り錠 DC（ストップ無し）			
その他		SAT				SAT				AT			
形状・寸法													

- 共  
通  
事  
項
1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。  
但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。

2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部サムターン付）

3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。

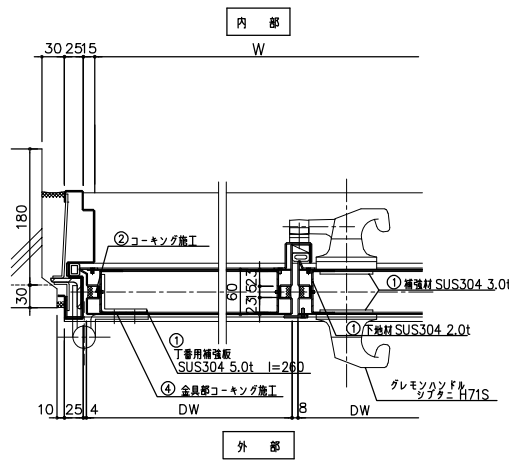
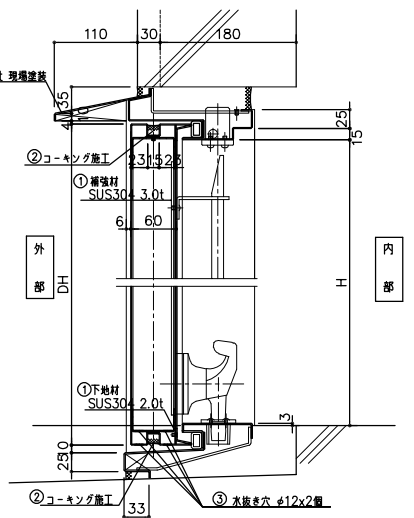
4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸は除く）をつける。  
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）

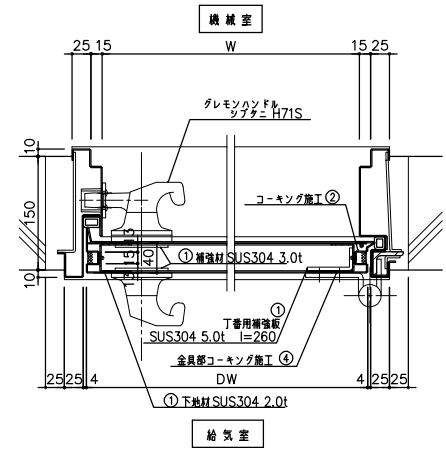
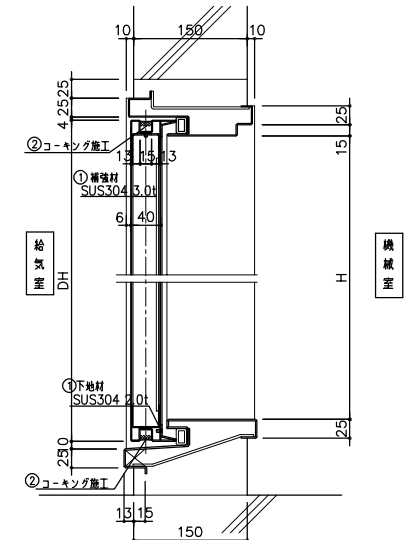
5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。

6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1, 500以内とする。

7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。

建 具 略 号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW
	鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS	
	鋼製軽量	LD						LS	
	ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS	
ガ ラ ス 略 号	木 製	WD	WW	WG		P	H		
	F 型板ガラス			金	D C ドアクローザー				
	P フロート板ガラス			物	A H オートヒンジ				
	N 網入型板ガラス			略	F H フロアヒンジ				
	N P 網入みがき板ガラス			号	P H ビボットヒンジ				

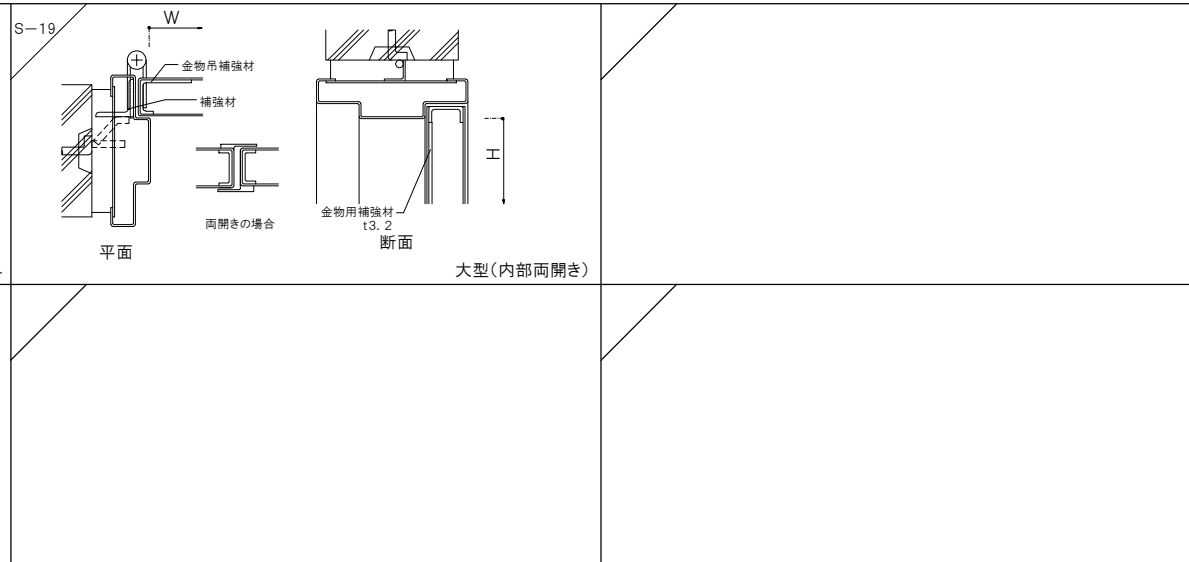
SSD-1-N、SSD-2-N詳細図 S=1/5	
注意＊表面材を 四辺折り曲げを行う事により、表面に靫歪みが発生することがある。	
	

SSD-3-N詳細図 S=1/5	
注意＊表面材を 四辺折り曲げを行う事により、表面に靫歪みが発生することがある。	
	

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建具表	縮 尺	1/50	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-17	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

(鋼製建具)

( ー ー )は標準図番号に準ずる



D-01-1, D-02-1

※ 扉面積2.5㎡ 以上の場合は大型戸当り、あおり止めを設ける。 [D-01-1]

- |          |                   | 大型                     |                        |                        |                   |                   |                   |                   |     |
|----------|-------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----|
|          |                   | [D-02-1]               |                        |                        |                   |                   |                   |                   |     |
| H        | W                 | 950以下                  |                        | 1, 250未満               |                   | 1, 500未満          |                   | 1, 750未満          |     |
|          |                   | 大 型                    | 気 密                    | 大 型                    | 気 密               | 大 型               | 気 密               | 大 型               | 気 密 |
| 2, 000未満 | ※                 | [40]<br>一般(150)<br>3 枚 | [40]<br>一般(150)<br>3 枚 | [40]<br>一般(150)<br>3 枚 | [50]<br>大型<br>3 枚 | [50]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 |     |
| 2, 400以下 | ※                 | [50]<br>一般(150)<br>3 枚 | [40]<br>一般(150)<br>3 枚 | [50]<br>大型<br>3 枚      | [50]<br>大型<br>3 枚 | [50]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 |     |
| 3, 000未満 | [50]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚      | [60]<br>大型<br>3 枚      | [60]<br>大型<br>3 枚      | [60]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 | [80]<br>大型<br>3 枚 |     |
| 3, 500未満 |                   |                        | [60]<br>大型<br>3 枚      | [80]<br>大型<br>4 枚      | [60]<br>大型<br>3 枚 | [80]<br>大型<br>4 枚 | [60]<br>大型<br>3 枚 | [80]<br>大型<br>4 枚 |     |

- | 建 具               | 種 別           | 戸   | 窓   | ガラリ | オートバ<br>ーベ<br>ン<br>ド<br>ア | 紙障子 | ふすま | シャッター | 網戸 |
|-------------------|---------------|-----|-----|-----|---------------------------|-----|-----|-------|----|
| 略 号               | アルミニウム製       | AD  | AW  | AG  | AOD                       |     | AS  | aW    |    |
|                   | 鋼 製           | SD  | SW  | SG  | SOD                       |     | SS  |       |    |
|                   | 鋼製軽量          | LD  |     |     |                           |     | LS  |       |    |
|                   | ステンレス製        | SSD | SSW | SSG |                           |     | SSS |       |    |
| 号                 | 木 製           | WD  | WW  | WG  |                           | P   | H   |       |    |
| ガラ<br>ス<br>略<br>号 | F 型板ガラス       |     |     | 金   | D C ドアクローザー               |     |     |       |    |
|                   | P フロート板ガラス    |     |     | 物   | A H オートヘンジ                |     |     |       |    |
|                   | N 網入型板ガラス     |     |     | 略   | F H フロアヘンジ                |     |     |       |    |
|                   | N P 網入みぎき板ガラス |     |     | 号   | P H ビボットヘンジ               |     |     |       |    |

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建具枠回り詳細及び配号（鋼製）	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-18	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				

( ー ー )は標準図番号に準ずる

令和7年度 入善町公共下水道事業				
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事			
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内			
図 称	建具枠回り鉄筋及び壁戸（鋼製・傾斜構造）	縮 尺	1/-	
設計年月日	令和 年 月 日	番 号	A-19	
課 長	係 長	合 議	審 査	設計者
入 善 町 役 場				



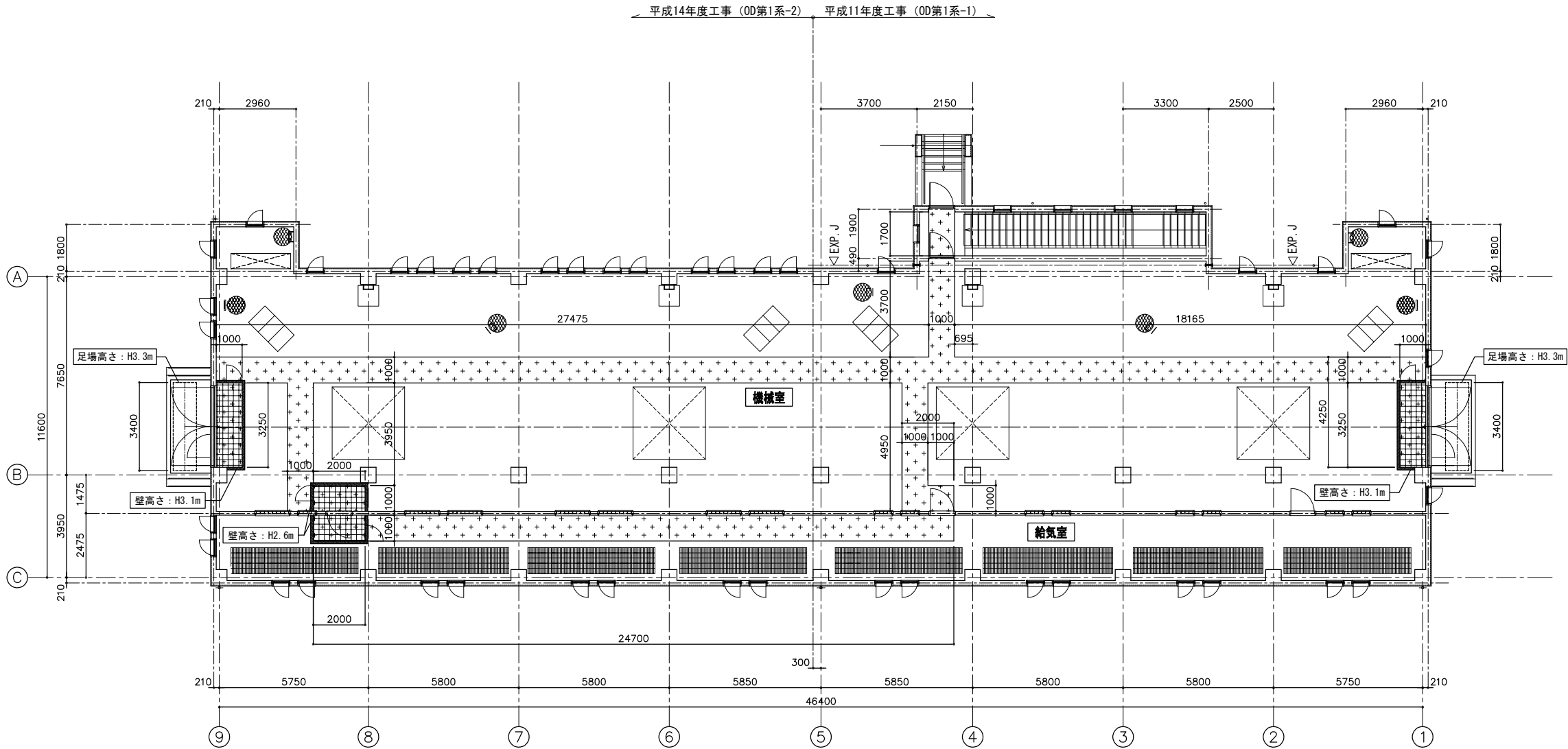
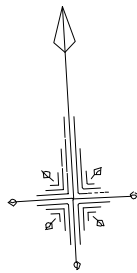


改修前

改修後

注 記	<div>印は仕上撤去部を示す。</div>		注 記	<div>印は仕上新設部を示す。</div>	収まり・大きさ等は、現場にて再度計測の上チェックの事。
				※印はメーカー工事とする。	

令和7年度 入善町公共下水道事業					
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事				
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内				
図 称	改修詳細図 (2)		縮 尺	1/10	
設計年月日	令和 年 月 日		番 号	A-21	
課 長	係 長	合 議		審 査	設計者
入 善 町 役 場					



1 階 平 面 図 S=1/100

＜注記＞

- ・仮設間仕切り、足場等は現場監督員と調整のこと。
- ・仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目、床、天井部にテープを貼ること。
- ・仮設間仕切り内施工スペースは床養生シート敷きとすること。
- ・特記なき限り仮設間仕切内の設備機器・盤等は養生のこと。

※この「参考図面」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料である、したがって、「参考図面」は請負契約上の拘束力を生じるものでなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分の責任において定めるものとする。ただし、当初契約時の想定と現地条件、施工条件が異なる場合には、監督職員と協議の対象となる。

＜凡例＞

- +

+

+

通路養生シート敷
- 外部枠組本足場900枠＋養生シート
- 仮設間仕切壁 B種
- 内部脚立足場H4m以下

令和7年度 入善町公共下水道事業					
工 事 名	入善浄化センター建築改修工事				
工事箇所	入 善 町 東 五 十 里 地 内				
図 称	仮設計画平面図（参考図）		縮 尺	1/100	
設計年月日	令和 年 月 日		番 号	A-22	
課 長	係 長	合 議		審 査	設計者
入 善 町 役 場					